

2025 年 7 月 8 日

通貨ニュース

新興国：足並み揃わぬ BRICS、トランプ発言への反応もまちまち

サマリー

7 月 6 日～7 日の日程で、ブラジルで BRICS 首脳会議が開催された。1 日目に採択された『リオデジャネイロ宣言』は新味に欠けたが、早速トランプ氏は「反米主義」と追加関税を示唆した。BRICS 各国の政府高官は早速トランプ発言に反応したが、その温度感はまちまちであった。元来加盟国間での関係は決して良好とはいえず、近年では加盟国を更に拡大したのだから、その傾向は更に強まっているはずだ。「西側先進国主導の国際秩序」への対立軸、という観点では加盟国の意思や思惑は一致できるのだろうが、それ以上の協調は現状困難と言わざるを得ない。

足並み揃わぬ BRICS、トランプ発言への反応もまちまち

7 月 7 日、2 日間に渡る BRICS サミットが終了した。1 日目には『リオデジャネイロ宣言』と名付けた共同声明を採択したものの(*1)、2 日目の公表資料に目を引く内容はほとんど確認できなかった。金融市場では上記宣言に対するトランプ氏の発言「BRICS の反米政策に協調する国には、10%の追加関税を課す」が大々的に取り上げられたが、発言から 1 日が経過し BRICS 側からも反応が見られるので、紹介しておこう。

BRICS 諸国の反応として気になるのは、やはり各国の持つ温度感の差異だろう。例えばホスト国であるブラジルのルラ大統領は、「関税での脅しは無責任」としたうえ、ドルを介さない貿易関係の構築を声高に叫んだ。中国の毛寧報道官も、「関税を強制や圧力の道具として使うべきではない」と明確に批判した。この 2 か国は、米国に対し明らかな対決姿勢を示している。ロシアも同様である。他方で、南アフリカ政府は「反米的ではない」と表明しており、明確な反発を避けている。インド政府高官の情報発信は、本校執筆時点で確認できない。つまり、BRICS 内部でも、米国ないしトランプ氏に対する温度感は大きな乖離が見られ、一枚岩とは全く言えない。

前々から述べている通りだが、BRICS は数ある国際会議の中でも、加盟国間の連携が薄い、あるいは利害関係の相違が大きいことが特徴的である。元来加盟国間での関係は決して良好とはいえず、近年では加盟国を更に拡大したのだから、その傾向は更に強まっている。「西側先進国主導の国際秩序」への対立軸、という観点では加盟国の意思や思惑は一致できるのだろうが、それ以上の協調は現状困難と言わざるを得ない。実際、サミットの度に手の込んだ共同宣言こそ出しているものの、BRICS として大きな経済インパクトをもたらした何らかの実績やプロジェクトは存在しない。

もちろん、米国主導の国際秩序が明らかに岐路に立たされる中で(あるいは米国自らそれを破壊しようとする中で)、新たに国際的リーダーとしての一角に躍り

国際為替部

マーケット・エコノミスト

長谷川 久悟

03-3242-7065

kyugo.hasegawa@mizuho-bk.co.jp

出るポテンシャルが BRICS にあるのは事実だ。だからこそ、トランプ氏は BRICS の行動に、過剰なまでに反応する。しかし、BRICS 側も、拡大すればするほど加盟国間の利害関係が複雑になるという、ある種のトレードオフを甘受する状況にある。世間が持ち上げるほど、BRICS に共同体としての性質は備わっていないし、共同体としての意識は加盟国間で大きく異なる。過剰に持ち上げることは危険との認識に、変化はない。

※現在の BRICS 加盟国は、首脳会談および外相会談に際し立ち上げられた公式サイトによれば、「ブラジル」「中国」「エジプト」「エチオピア」「インド」「インドネシア」「イラン」「ロシア」「サウジアラビア」「南アフリカ」「UAE」の 11 か国である。ただし、サウジアラビア側の情報発信に基づけば、同国の正式な加盟は未確認である。

(*1) 詳細は、2025 年 7 月 7 日発行の通貨ニュース、『[BRICS サミットの共同声明を受けて～目立った前進はなしも、トランプ氏はやはり過剰に反応～](#)』をご覧ください。

当資料は情報提供のみを目的として作成したものであり、特定の取引の勧誘を目的としたものではありません。当資料は信頼できると判断した情報に基づいて作成されていますが、その正確性、確実性を保証するものではありません。ここに記載された内容は事前連絡なしに変更されることもあります。投資に関する最終決定は、お客様ご自身の判断でなさるようお願い申し上げます。また、当資料の著作権はみずほ銀行に属し、その目的を問わず無断で引用または複製することを禁じます。なお、当行は本情報を無償でのみ提供しております。当行からの無償の情報提供を望まれない場合、配信停止を希望する旨をお申し出ください。